

新春の企画展 「あの時を刻んだ時計 ～いなべのボンボン時計が鳴ったころ～」
令和8年1月17日(土)～3月15日(日)

江戸時代には多くのお寺の鐘で時を知りました。明治時代になって新しい制度の下で、外国から入ってきた「ボンボン時計」を使うようになりました。ゼンマイを巻くと「チク・タク、チク・タク」と動き、時がくれば「ボン・ボン…」と鳴って時間を知らせます。やがて国内でも作られるようになって広まっていきました。

今回の企画展では、明治・大正・昭和にかけてのボンボン時計の移り変わりとともに、その時計が時を刻んでいたころの昔の写真をご覧ください。100年以上も昔の時計が動いて、「ボン・ボン…」と時を知らせる様子も楽しんでいただけます。



明治・大正・昭和、時代とともに時計のデザインも移り変わります。今も動いて時を知らせる時計も展示しています。

昭和のころ、地域で大事にされてきた八幡祭です。今とは一味違う盛り上がりを感じます。人々の服装や表情、一枚の写真からいろんな情報が見て取れます。

藍の種を差し上げます

新春の企画展にあわせて配布します！

夏の染め物体験でも使った藍は、秋にはピンクの花が咲き、晩秋にはたくさんの種をつけました。数に限りはありますが、企画展中にご来館いただいた方に差し上げます。プランターでも育てられますので、春になったら種まきしてみませんか。

